

## 5. 市民説明会や公開討論会への参加、住民投票に対する評価

問4 今回の住民投票に関して、市民説明会や公開討論会には参加しましたか。			
【旧佐久市】			%
1	参加した	71	9.0
2	参加しなかった	714	90.5
99	無回答	4	0.5
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	参加した	88	11.7
2	参加しなかった	662	87.7
99	無回答	5	0.7
	合計	755	100.0

  

問5 今回、総合文化会館をめぐる問題について佐久市が住民投票を実施したことは、良かったと思いますか。			
【旧佐久市】			%
1	良かった	540	68.4
2	良くなかった	91	11.5
3	どちらともいえない	151	19.1
99	無回答	7	0.9
	合計	789	100.0
【臼田・浅科・望月】			%
1	良かった	535	70.9
2	良くなかった	66	8.7
3	どちらともいえない	149	19.7
99	無回答	5	0.7
	合計	755	100.0

今回の佐久市の住民投票では、告示直前までの約1カ月の間に市内各地で市民説明会が開催され、また、賛否両派の代表者を交えた公開討論会も二度行われたが、これらに参加したと答えた人は、回答者全体の1割程度にとどまる。参加した人のほとんどは住民投票で投票したと答えており、有権者全体の中でも特に関心の高かった人々であると捉えることができる。

他方で、総合文化会館をめぐる問題について住民投票が実施されたことへの評価を尋ねた問5では、旧佐久市および旧町村部のいずれにおいても、「良かった」と答えた人が7割前後に上っており、住民投票の実施については多くの市民が評価していると言える。ただ、賛否の行動との間でクロスデータを取ると、反対票を投じた人は9割前後が「良かった」と回答している一方、賛成票を投じた人に関しては、今回の住民投票に対する評価は「良かった」「良くなかった」「どちらともいえない」にほぼ三分されている。

つまり、賛成票を投じた有権者に限ると、住民投票の実施について納得しているのは3分の1強にとどまっており、賛成者の中にはやはり、今回の住民投票に関して割り切れない思いを抱いている人も多いことが分かる。